

重要

K-2取扱説明書 (MC-1、K-1の補足、訂正版)

「MC-1取扱説明書」の一部について補足、訂正を行います。以下の内容につきましては「MC-1取扱説明書」の内容にかわって当補足、訂正文に従ってください。これを「K-2取扱説明書」としてご理解頂くようよろしくお願いいたします。その他の内容につきましては「MC-1取扱説明書」の内容と同様となります。

⚠ 注意

補足、訂正のある部分は必ず当補足、訂正文の内容に従ってください。又、補足、訂正箇所には〰(波線)を入れております。

当補足、訂正のない箇所に関しては「MC-1取扱説明書」の本文に従ってください。(その際、本文中の「MC-1」の文字は全て「K-2」におきかえてご理解ください。

訂正 1 P.4セレクトレバーの操作は正しく正確に

セレクトレバーの操作は正しく正確に

- ギヤの切換えはミッション保護の為、エンジン~~を切った状態~~で行ってください。

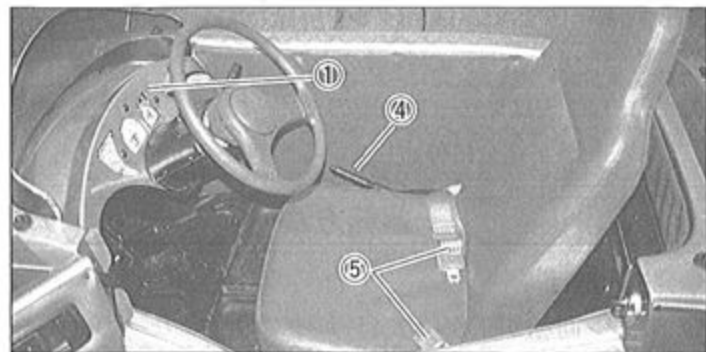
- 切換えは必ず完全停止時にゆっくり操作してください。
- アイドル回転の高い時、空吹かしした時はシフト操作はしないでください。(エンジン~~を一度止めてからシフト操作~~してください。)
- ギヤの切換えがスムーズにいかない場合は、サイドブレーキ、フットブレーキを解除してから操作してください。

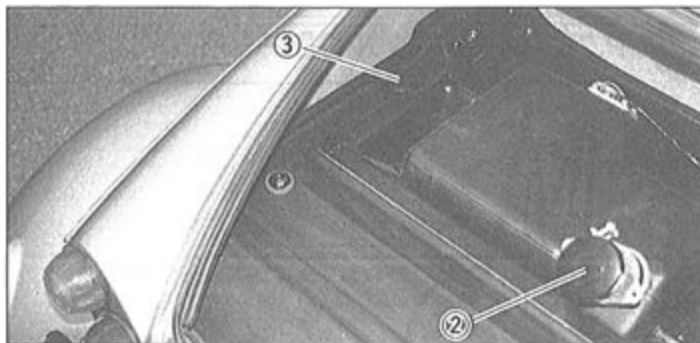
訂正 2 P.4セレクトレバー位置は目で確認

セレクトレバー位置は目で確認

- エンジンを始動する前に、前進するときは[D] (後退は[R]) の位置にあることを目で確認してください。

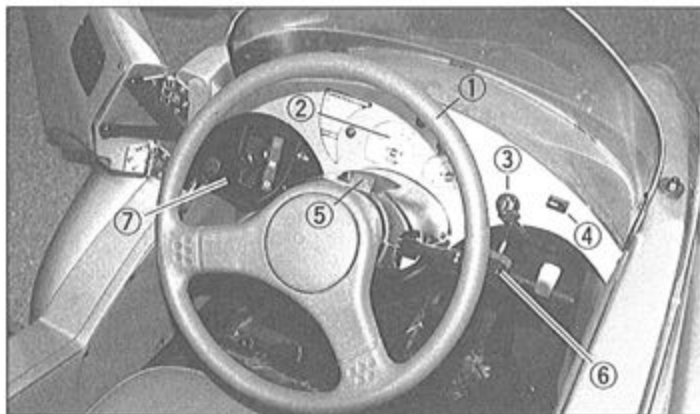
訂正 3 P.8各部の名称





- ①インストルメントパネル ④パーキングブレーキ
 ②ガソリンタンク給油口 ⑤シートベルト
 ③オイルタンク給油口

訂正 4 P.9インストルメントパネルの名称



- ①ハンドル ⑤ハザードスイッチ
 ②コンビネーションメーター ⑥ターンシグナル/デマスイッチ
 ③イグニッションスイッチ ⑦シフトノブ
 ④スターターボタン

訂正 5 P.10メーターと警告灯のみかた



- ①スピードメーター（速度計）
 車の速度をkm/hで表示します。
- ②オドメーター（総積算距離計）
 走行した総距離を表示します。
- ③ターンシグナルパイロットランプ（方向指示灯）
 ターンシグナル/デマスイッチレバーを操作しターンシグナルランプが作動すると点滅します。
- ④オイル警告灯
 エンジンオイルの残量を示します。このランプがエンジン始動

中や走行中に点灯したら、直ちに2サイクル車用 (JASO M345 規格 FC級) をオイルタンクへ補給してください。

👉 アドバイス

オイルは切らさないでください。オイル残量警告灯が点灯したまま走行するとオイルが切れエンジンがこわれます。

⑤ハイビームインジケータランプ

ヘッドランプが上向き照射のとき点灯します。

⑥フューエルメーター (燃料計)

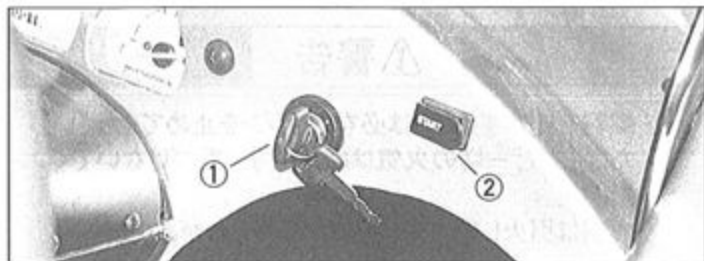
燃料タンク内のガソリンの量を示します。

指針が“E”に入りかけたときは、早めにガソリンを補給してください。

燃料計の指針が“E”に入りかけたときの燃料有効残量:

約1ℓ

訂正 6 P.11スイッチの使い方



①イグニッションスイッチ (図中の①)

OFF…キーを抜き差しできる。

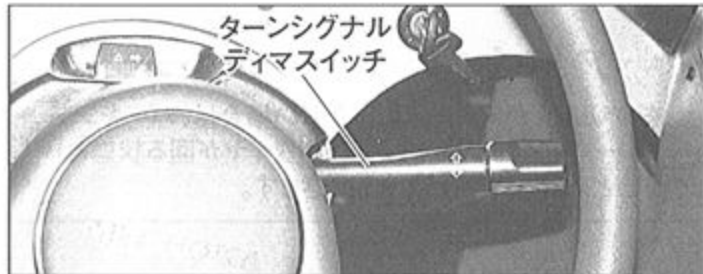
ON…エンジンが始動できる。

②スターターボタン (図中の②)

エンジンを始動するときに使用します。

(詳しくは当補足、訂正書、項目 ^{訂正}10 「エンジン始動方法」をお読みください。)

- ターニングナルはエンジンが始動しているときに作動します。レバーを上へ動かすと左側ターニングナルが、またレバーを中央より下へ動かすと右側ターニングナルが点滅します。



訂正 6 P.12スイッチの使い方のつづき

- デイマ (ヘッドランプ切換) は、エンジン始動中のときのみヘッドランプの切り換えができます。レバーを手前に引き上げるとヘッドランプが切り換わり、もう一度レバーを引き上げると元に戻ります。

👉 アドバイス

ヘッドランプ、テールランプはエンジン始動と同時に自動的に常時点灯します。

◆ハザードスイッチ (非常点滅灯)



エンジン始動中に作動します。やむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。スイッチを右に動かすと全ての方向指示器が点滅します。止めるときは、スイッチを左に戻します。

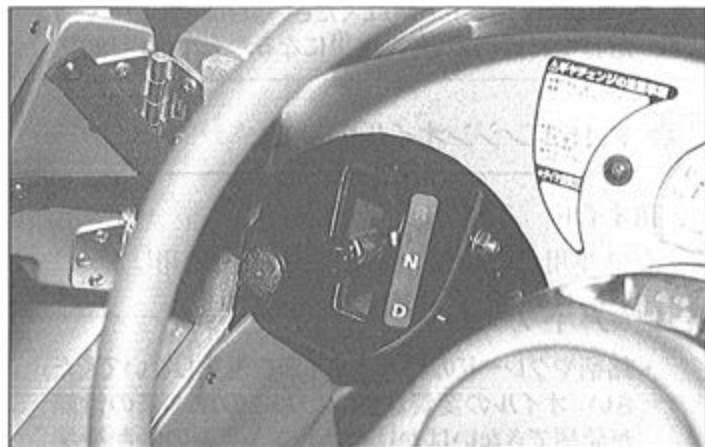
◆ホーンボタン



ホーンボタンを押すとホーン(警音器)が鳴ります。

訂正
7

P.13シフトノブの取扱い



シフトノブの取扱い

- ・シフトノブの操作は、必ず車輦が完全に停止している状態かつ、エンジンを切った状態でゆっくりと行います。
- ①…ドライブ(前進)
 - ・シフトノブが①の位置の場合、アクセルペダルを踏むと車輦が前進します。
 - ・エンジン始動時にはあらかじめシフトノブを①に入れておきます。(前進したい場合)
- ②…リバース(後進)
 - ・シフトノブが②の位置の場合、アクセルペダルを踏むと車輦

は後進(バック)します。

- ・エンジン始動時にはあらかじめシフトノブを[R]に入れておきます。
(後進したい場合)

⚠ 注意

- ・次のような操作は、トランスアクスルを破損するおそれがありますので、絶対にしないでください。
 - ・車が完全に停止する前に[D]、[R]に入れる。
 - ・車を前進させているときに[N]、[R]に入れる。
 - ・車を後退させているときに[N]、[D]に入れる。
 - ・アイドルリングが安定する前に[D]、[R]に入れる。

👉 アドバイス

ギヤ切換えがスムーズにいかない場合は、パーキングブレーキ、フットブレーキを解除(タイヤが回る状態)するとスムーズに行うことができます。

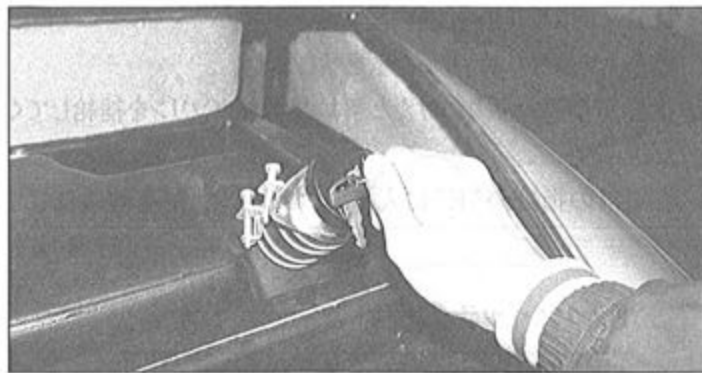
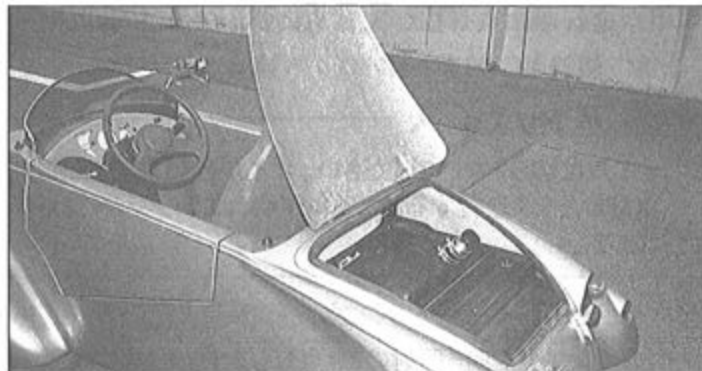


P.14ガソリンの補給

リヤハッチを開き、フューエルタンクキャップにキーを差し、キーを右へ回すとロックが外れ、フューエルタンクキャップは、左へ回すとはずれます。

ロックするときは、外すときと逆の順序で行います。

燃料は、無鉛ガソリンを使用してください。



⚠ 警告

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを止めてください。
- ・たばこなど一切の火気は厳禁です。近づけないでください。
燃料は引火しやすく火災になるおそれがあります。

⚠ 注意

- ・キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。



P.15エンジンオイルの補給

〈使用オイル〉

2サイクル車用 (JASO M 345 規格 FC級) を使用してください。



アドバイス

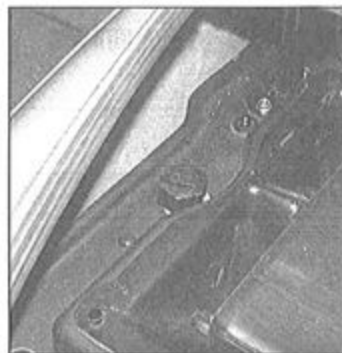
- ・銘柄やグレードの異なるオイルを混用しないでください。オイルの変質などにより、この車本来の性能が発揮できないばかりでなく、エンジンの故障や損傷の原因となります。

知識

- ・JASO M 345規格とは、2サイクルエンジンオイルの性能を分類する規格です。なお、規格に適合し届け出されたオイルの容器には、次の表示があります。



◆エンジンオイルの量



エンジンが始動している状態で、エンジンオイルパイロットランプが点灯したら、オイルを補給してください。

セルモータを回している時には、このランプが点灯するのが正常です。

万一点灯しない場合には球切れが考えられますのでお買い上げ店または(株)光岡自動車直営店へご連絡ください。

⚠ 注意

- ★作業は平坦な場所で行ってください。
- ★補給するときは、オイルフィルラからごみなどが入らないようにしてください。
- ★オイルをこぼしたときは、完全にふき取ってください。
- ★オイル補給の際、補給口の筒部分までは入れないでください。もれることがあります。

エンジン始動方法

◆エンジンの始動

- ①パーキングブレーキが完全にかかっているかどうか確認します。
完全にかかっていない時は、完全にかかるまでパーキングブレーキを引き上げます。
- ②セレクトレバーを[D] (又は[R]) の位置にします。
- ③キーをONにして、ブレーキペダルを踏み込んだままスタートボタンを押します。(ブレーキペダルを踏まないとエンジンが始動しません。エンジンが始動したらボタンから手をはなしてください。)
- ④始動後(時に寒冷時)にオートチョークが作動しエンジン回転が高くなるため、ブレーキを解除すると車が動く場合があります。ゆっくりとブレーキペダルを解除しスピードをコントロールしてください。(ミッション保護のため)
- ギヤチェンジはミッション保護のため、エンジンを切った状態かつ、車輦が完全に停止している状態で行ってください。

運転方法

◆発進と走行

- エンジン回転が下がり、アイドリングの状態になったらブレー

キペダルから足を離し、パーキングブレーキを戻しながらアクセルペダルを踏み込むと発進、走行ができます。

- アクセルペダルの踏み加減とブレーキペダル操作によりスピードを調整してください。

⚠ 注意

- 次のような操作は、トランスアクスルを破損するおそれがありますので、絶対にしないでください。
 - ・車が完全に停止する前に[D]、[R]に入れる。
 - ・車を前進させているときに[N]、[R]に入れる。
 - ・車を後退させているときに[N]、[D]に入れる。

⚠ 注意

- エンジン回転が高い状態で発進する場合は車の発進が早くなります。暖気運転中に車を動かす場合はブレーキ操作を慎重に行ってください。
- [R]→[D]、[D]→[R]に切替える際は、車輦を完全に停止させ、エンジンを一度切ってからシフト切換えを行ってください。
- 長い下り坂を[N]で走行しないでください。



P.23、24、28、30(ワイパー及びウィンドウウォッシャーに関する訂正)

- K-2をお買い上げのお客様は上記ページのワイパー及びウィンドウウォッシャーの項目は、適応されません。



P.43サービスデータ

サービスデータ

K-2の車輛概要は以下の通りです。

	項 目	デ ー タ
寸法・重量	車輛寸法(長×幅×高)	2470×1275×1020mm
	ホイールベース	1720mm
	最低地上高	125mm
性能	車輛重量	170kg
	最小回転半径	4.6m

バルブ(電球)の一覧

ターンシグナルランプ	20W
------------	-----



P.28ブレーキペダルの踏みしろ

